



HELLO, NEW CITY.

～新しいまちの暮らし
スーパースマートシティ うつのみや～

共創のまち うつのみやへの想い



宇都宮市長 佐藤 栄一

1 宇都宮市の概要（経済状況）

◎ 生産活動に注目すると、内陸型都市として国内最大規模を誇り、
経済状況は中核市(全62市)の中でも上位

年間商品販売額 2兆4240億円

(中核市平均 1兆1,049億円)



出典：令和3年経済センサス

⇒中核市 **第2位**

付加価値額 1兆1,727億円

(中核市平均 6,950億円)



出典：令和3年経済センサス

⇒中核市 **第5位**

製造品出荷額 1兆8,399億円

(中核市平均 8,859億円)



出典：令和3年経済センサス

⇒中核市 **第5位**

農業産出額 178億円

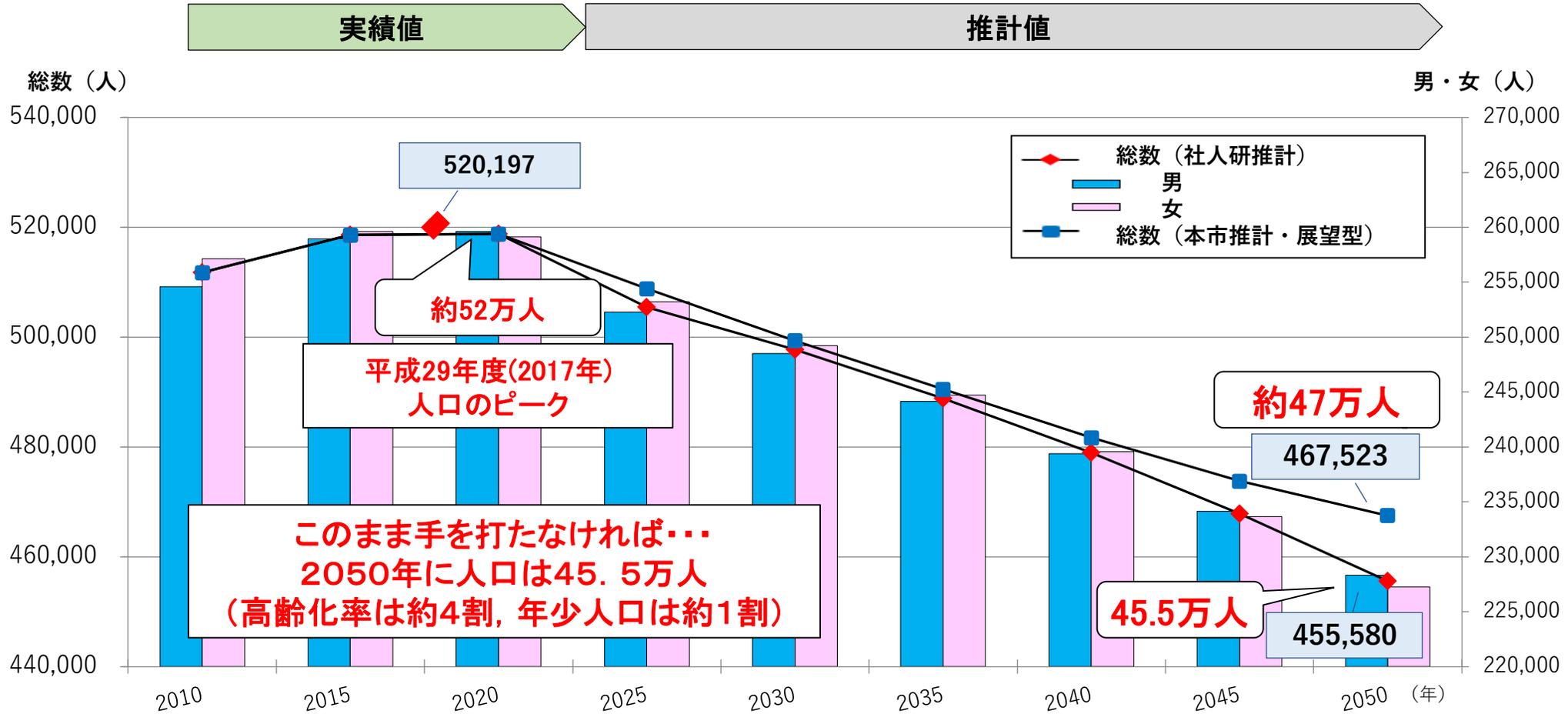
(中核市平均 99億円)



出典：令和4年市町村別農業産出額

⇒中核市 **第11位**

1 宇都宮市の概要（人口推計）



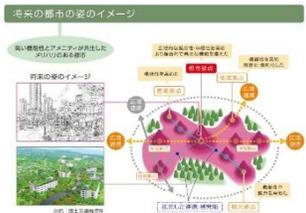
出典：「日本の地域別将来推計人口（令和5年推計）」（国立社会保障・人口問題研究所），
「国勢調査結果」（総務省統計局），「宇都宮市推計人口資料」（宇都宮市）

◎ 希望する人が結婚や子育てをしやすい環境をつくとともに、移住定住の促進に取り組み、
人口減少スピードを緩やかにすることで、**2050年においても一定の人口を維持**

1 宇都宮市の概要（まちづくりの歩み）

宇都宮市のまちづくりのこれまでの歩み
～「スーパースマートシティ」の実現に向けて～

2008
基本構想にNCCを位置付け
3月、「第5次宇都宮市総合計画」に、今後の人口規模・構造や都市活動に見合った都市の姿として、NCCを位置付け



2015
NCC形成ビジョンの策定
2月、「NCC」の実現に向け、目指すべき将来イメージと進め方を市民や事業者などへ分かりやすく示す指針として策定



2009
3月、もったいない運動市民会議の設立



2013
3月、「東西基幹公共交通の実現に向けた基本方針」を策定

2015
11月、「宇都宮ライトレール(株)」の設立
宇都宮ライトレール株式会社
Utsunomiya Light Rail Co., Ltd.

2019
「スマートシティモデル事業」への選定
5月、本市を含む「Uスマート推進協議会」の取組が、全国のけん引役となる先駆的な取組として選定



2016
・4月、地区市民センターにおいて保健福祉サービスの提供を開始
・9月、軌道運送高度化実施計画が認定

2018
・1月、宇都宮駅東口地区整備方針の策定
・5月、LRT着工

2019
11月、FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Final の開催

2019
「SDGs未来都市」への選定
7月、持続可能な開発を実現するポテンシャルの高い都市として選定



2021
・3月、全国初の地域連携ICカード「totra」のサービス開始



2020
10月、東京圏における交流・活動拠点「宇都宮サテライトオフィス」を設置

2021
目指すまちの姿「スーパースマートシティ」の提示
11月、概ね2030年頃の本市が目指す具体的なまちの姿としてスーパースマートシティを提示



2021
・7月、再エネの地産地消を推進する「宇都宮ライトパワー(株)」の設立
宇都宮ライトパワー株式会社
Utsunomiya Light & Power Co., Inc.



2022
11月、宇都宮駅東口交流拠点施設の供用開始(まちびらき)

2022
「脱炭素先行地域」への選定

11月、2030年度までにカーボンニュートラルを実現する、全国のモデルとなる地域として選定



2023
8月、全国初の全線新設となるLRTの運行開始

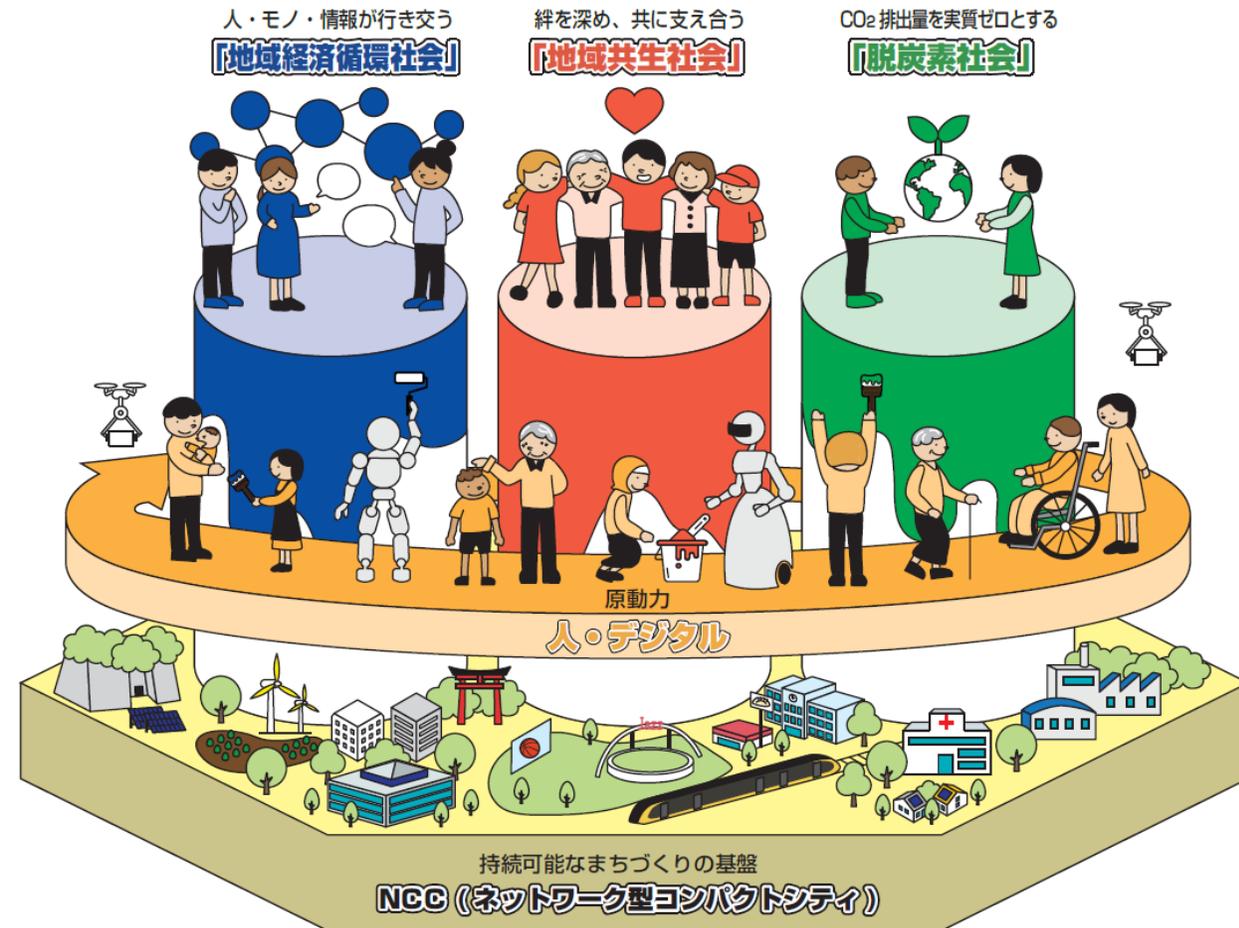


1 宇都宮市の概要（目指すまちの姿）

「スーパースマートシティ」

時代潮流の変化を的確に捉えながら、
周辺市町を含めた圏域全体の発展を図るとともに、
SDGsの達成にも貢献していくため、
「NCC(ネットワーク型コンパクトシティ)」を土台に、
「地域共生社会」、「地域経済循環社会」、
「脱炭素社会」の3つの社会が、
「人」づくりの取り組みや「デジタル」技術の活用を
原動力として、
「子どもから高齢者まで、誰もが豊かで便利に
安心して暮らすことができ、夢や希望がかなうまち
『スーパースマートシティ』」の実現を目指します。

“概ね2030年頃の具体的なまちの姿”



1 宇都宮市の概要（目指すまちの姿）

スーパースマートシティ(SSC)の実現に向けた
概ね5年後までに実装を目指すデジタルの取組(主なもの)

⇒ 全ての市民がデジタル技術の恩恵を受けられるよう、DXを推進

「地域共生社会」 に貢献するデジタル

■ 支え合える社会づくり

「地域経済循環社会」 に貢献するデジタル

■ 来訪者等の利便性等が
向上する社会づくり

「脱炭素社会」 に貢献するデジタル

■ 再生可能エネルギーの導入と
活用が進む社会づくり

「まちの基盤 NCC」 に貢献するデジタル

■ 市民等の利便性や快適性が
向上する都市基盤づくり



▶ オンライン空間（メタバース等）を活用した新たな「居場所」づくり など

▶ 観光拠点等におけるARやVR、MRなどの先進技術等を活用した臨場感等のある質の高いサービスの提供 など

▶ AI等を活用したエネルギーマネジメントシステム構築による最適化 など

▶ 観光・交通等の情報を発信するデジタルツールの整備や「totra」を活用したサービスの充実 など

自治体ランキングでは？

共働き子育てしやすい街 **2位**

住みたい街ランキング **4位**

財政健全度 **2位**

適切な「計画行政システム」の運用により、
100年先も持続可能な都市

出典:「都市データパック2023年版」東洋経済新報社
人口50万人以上の27都市を対象



【平成29年～令和6年】
8年連続 年度当初待機児童ゼロ！

【令和4年7月～】
JR宇都宮駅東口における
「送迎保育ステーション事業」の実施

【令和6年度～】
これまで実施してきた、第3子以降の
保育料の無償化を第2子まで拡大



出典:「共働き子育てしやすい街ランキング2023」日経xwoman, 日本経済新聞
全国の政令指定都市, 県庁所在地, 人口20万人以上の都市の計180自治体を対象に調査

- ・ 女性から問い合わせの多かった駅名に「JR宇都宮駅」がランクイン！
- ・ 前回2021年の93位から、大幅なランクアップ！
- ・ また、東京圏以外では初のトップ10入り！

出典:「住みたい街ランキング2023(首都圏版)」株式会社CHINTAI
Woman.CHINTAIに掲載された賃貸物件のうち、実際の検索・問合せ数から集計

⇒ 様々な視点で高い評価
⇒ 本市のポテンシャルが高まっている状況

2 本市の強み（地域経済循環社会）

F I B A 3 x 3 ワールドツアー

- ・ 3人制バスケットボールの国際大会
- ・ 2016年から大会を誘致・開催
- ・ 宇都宮二荒山神社参道及び宇都宮市バンバ市民広場に特設コートを設置
- ・ 2022年からツアー開幕戦である「オープナー」を本市で開催

⇒ 2024年4月に開催された

「FIBA3x3ワールドツアーうつのみやオープナー」

観客者数：80,000人

経済効果：8億1,690万円



FIBA 3x3
WORLD TOUR
UTSUNOMIYA OPENER

今年度は
「パリ2024
オリンピック」
予選大会も
本市で開催



2 本市の強み（地域経済循環社会）

宇都宮ジャパンカップサイクルロードレース



- ・ 世界で活躍するトップ選手が多数参戦する自転車ロードレースの国際大会
- ・ ワンデイレース(1日で勝者を決めるレース)としては、**アジアNo.1**のレース
- ・ 毎年10月に森林公園をメイン会場に開催
- ・ ロードレース前日には大通りを会場にクリテリウム
(短い距離の周回レース)を開催



ジャパンカップ
サイクルロードレース
(森林公園周回コース)

⇒ 2023年は10月13日～15日の日程で第30回記念大会として開催

観客者数:クリテリウム 55,000人

ロードレース 74,000人

経済効果:31億円

ジャパンカップ
クリテリウム
(大通り周回コース)



日本初
(全線新設)
R5.8.26開業

国内で
75年ぶりの
路面電車の開業

本日が
1周年
記念日



パンタグラフ
・架線から電力を取り入れるための装置
・電気モーターで駆動するため環境に優しい

LRT 車両 **ライトライン** 図鑑

愛称「ライトライン」の意味・由来

「ライトライン」は、トータルデザインコンセプトから「雷都」を取り、「道筋」や「つながり」を表す「ライン」と組み合わせた愛称です。「(未来への) 光の道筋」といったメッセージも込められています。

架線
・動力源になる電気が流れている

運転席
・ワンマン運転を予定
・運転最高速度は
時速40km

ノーズ
・地域の個性である「雷」を表現する
黄色が映える流線形の車両形状

レール
・軌道と呼ばれる
レールの上を走る

乗降口
・全ての扉で交通ICカードでの支払いが可能

窓
・外の景色を楽しめるよう
大きな窓を採用

貫通幌
・連結した車両の間を覆う部分で
乗客の転落防止と風雨を防ぐ
ために設置

専用空間を
走行するため **時間に正確!**

車両は騒音や
振動が少なく **快適な乗り心地!**

運賃
**150円~
400円**

運転時間帯
**6時台~
23時台**

運行間隔(1時間あたり)
ピーク時 **6分間隔**
オフピーク時 **10分間隔**

洗練された
デザインは **まちのシンボルに!**

乗り換え施設等の
整備で他の交通機関と **スムーズに連携!**

2 本市の強み（ライトラインの効果①）

まちの変化 ▶ ライトライン沿線の人口や工業団地の設備投資などが増加

ライトライン沿線では **約1,300人転入超過**

(R3.6~R6.3の累計)

市全体の社会増
(転入超過)を牽引

	ライトライン沿線内	ライトライン沿線外	宇都宮市全体
社会増減	1,288 (+2.01%)	-952 (▲0.21%)	336 (+0.06%)

(出典:宇都宮市「住民基本台帳人口」)



ライトライン沿線人口

約5,000人(8%)増加



宇都宮市全体の人口は、減少傾向にある中、ライトライン沿線は増加
(H24:約5.9万人⇒R6:約6.4万人)
(出典:宇都宮市「住民基本台帳人口」)

清原工業団地内の新たな**投資額**

約1,100 + α億円



清原工業団地では、ライトライン開業前後に、公表されている5社の投資額だけでも1,100億円を超えるなど、産業拠点としての充実・強化が図られている。

(出典:各企業のプレスリリース資料より抜粋)

観光客数の増加

R4→R5で **約192万人(18%)増加**



ライトラインの開業などを背景として、本市の観光客数が増加。また、再度来訪したい理由に「ライトラインに乗りたいたいから」を挙げた方が**13.7%**

(出典:宇都宮市「観光動態調査」)

2 本市の強み（ライトラインの効果②）

まちの変化 ▶ ライトライン沿線の人口や工業団地の設備投資などが増加

ライトライン沿線の地価

ライトライン沿線の地価は、事業化が確実にされた平成25年頃以降、上昇基調が続いている。

商業地

住宅地

約**6%**上昇

約**11%**上昇

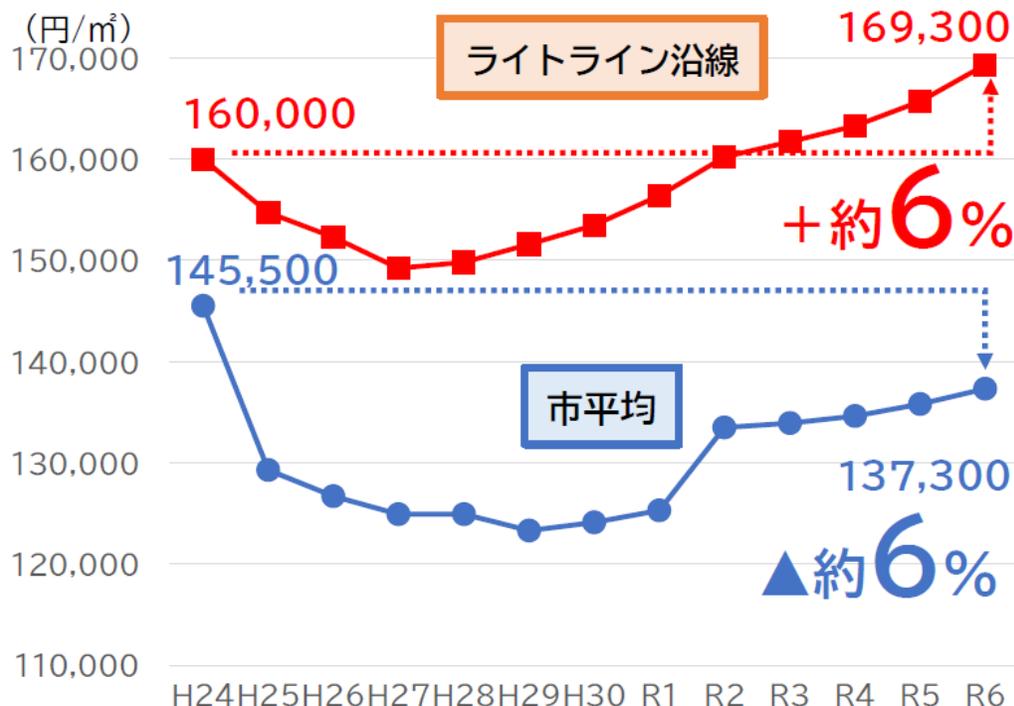
栃木県内の地価上昇ランキング

順位	所在地	R5→R6 変動率
1	ゆいの杜4丁目付近	+7.5%
2	陽東5丁目付近	+4.3%
3	陽東8丁目付近	+4.1%

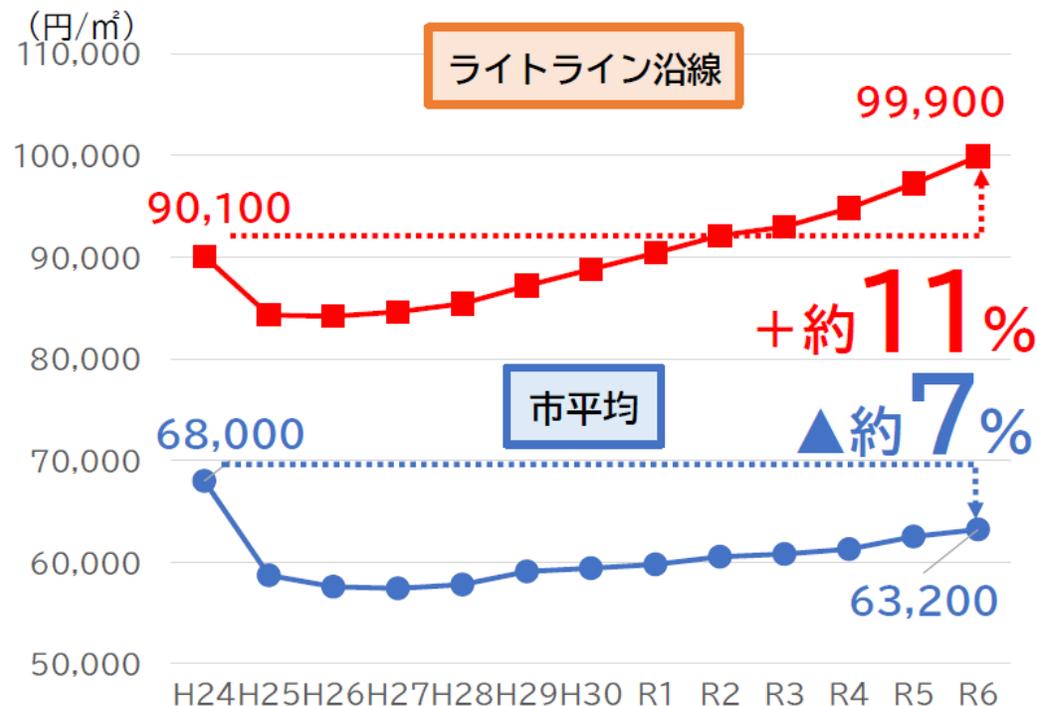
ライトライン沿線が
トップ3を独占!

(出典:国土交通省「地価公示」)

地価（商業地）の推移

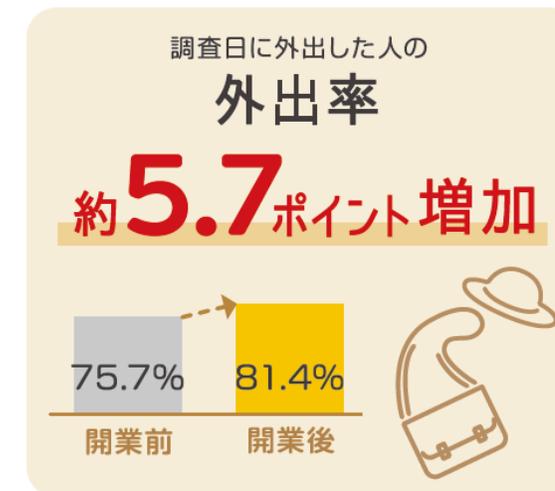
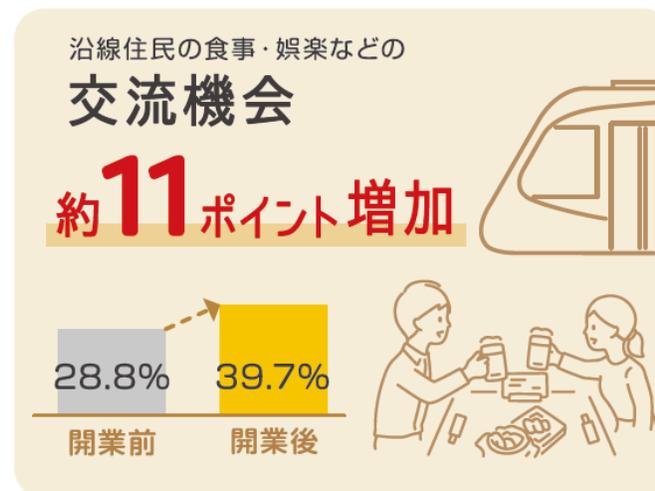
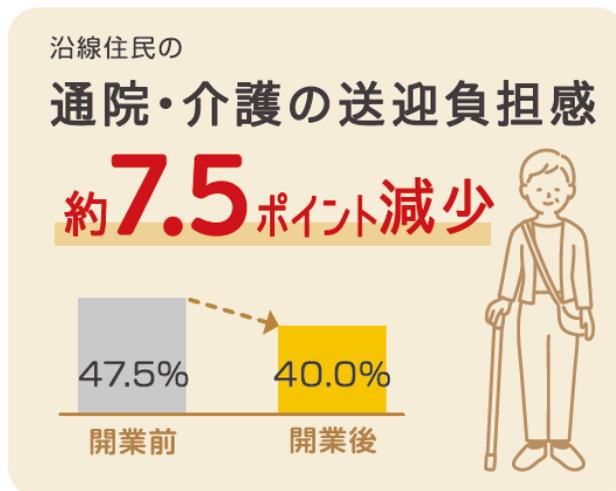


地価（住宅地）の推移



2 本市の強み（ライトラインの効果③）

ライフスタイルの変化 ➤ 開業後に住民の外出機会や歩数などが増加

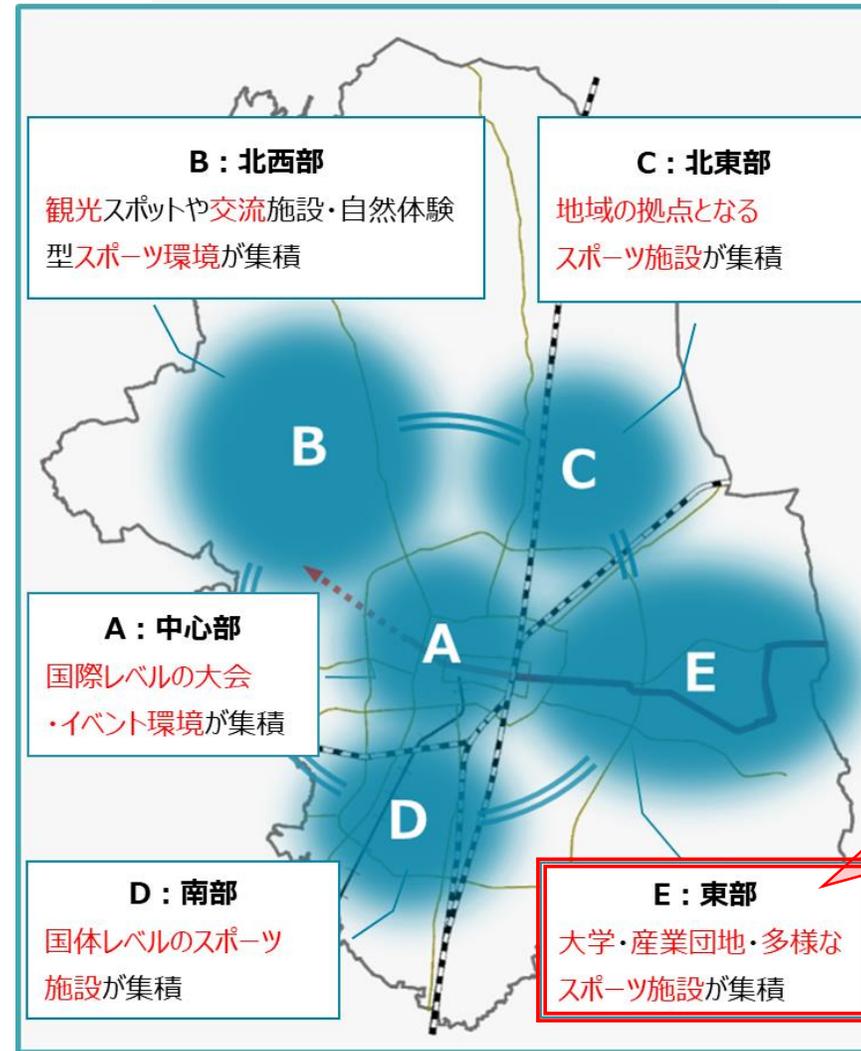


2 本市の強み（スポーツのポテンシャル①）

◎ 「スポーツの国際大会の開催」や「多様なスポーツ施設」など、スポーツ資源が豊富

	圏域の特色等
A：中心部	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>ジャパンカップやFIBA3x3など国際レベルの大会や大型イベントを開催。</u> 街中ならではの「魅せる」スポーツにより、賑わい創出や市街地の活性化等を積極的に展開。
B：北西部	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>大谷やろまんちっく村，森林公園など，観光スポットや交流施設，自然体験型スポーツ環境が集積。</u> ・ 北西部地域における生涯スポーツの受け皿として，地域体育施設の整備に取り組む。
C：北東部	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>河内総合運動公園には，ドリームプールかわちなど北東部の拠点となるスポーツ施設が集積。</u> プロサッカーチームも活動。河内総合福祉センターなどの健康増進施設あり。
D：南部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 栃木県総合運動公園では，栃木県による総合スポーツゾーンの整備促進など，新たな地域の顔となるスポーツ・レクリエーションの拠点として形成。<u>国体レベルのスポーツ施設が集積。</u>
E：東部	<ul style="list-style-type: none"> ・ <u>ライトライン沿線には，複数の大学や産業団地，多様なスポーツ施設等が集積している。</u> ・ ライトライン開業により交通利便性が高く，トランジットセンター周辺等で地域特性に応じた拠点の形成が図られるなど，ポテンシャルが高まっている。

<圏域の特色等（主なもの）>



ライトライン沿線はとりわけポテンシャルが高い

2 本市の強み（スポーツのポテンシャル②）

ブルックスアリーナ宇都宮
(市体育館(改修予定))
【宇都宮ブルックス】



ライトライン沿線 ⇒ 「東部スポーツウェルネスライン」



栃木県グリーンスタジアム
【栃木SC】
収容人数 約15,000人



東部総合公園
令和8年3月
オープン予定

RIDE ON! UTSUNOMIYA MOVEMENT
～市民がつどい、つながり、ひろがるギャザリングパーク～



ライトライン
平石停留場

【イメージパース (公園全景)】

宇都宮清原球場
収容人数 約30,000人



3 共創のまちづくり

● これまでの「市民協働」

⇒ 市民や団体, 事業者, 行政がそれぞれの役割を担い合い, 連携・協力する, 「市民協働」を推進し, 様々な分野での効果を発現

しかし・・・

人口構造の変化が加速する中, 人口減少社会となり, 将来に渡り持続可能な形で「市民生活」や「事業活動」を支えていくためには？

◎ これからは「共創」も必要

⇒ 異なる立場の人が交流・対話をしながら, 新しい商品・サービス・価値観を共に創り上げることで, より一層, 限りある資源の最大活用やこれまでの取組の効果拡大を図っていくことが必要



3 共創のまちづくり（開会宣言）

◎ 本市のまちづくりに関わる市民・事業者・団体・行政などが一体となり、市民サービスの向上や新しい価値の創造を目指す「共創のまちづくり」の強化・充実に向けて、本日、「交流・対話」のきっかけとなる、「ミライ共創フォーラム」を開催し、**これからも皆様と共に、「うつのみやのミライ」を創ってまいります。**

★ 様々なステークホルダーが連携するイメージ



様々なステークホルダー等の連携
(市民協働・公民連携の推進)



共創(まちづくり)の
充実・強化



「共創のまち」うつのみや
スーパースマートシティの具現化

本市に対する国内外からの高い評価を活かし、
人口減少・少子高齢化が進行する中においても、

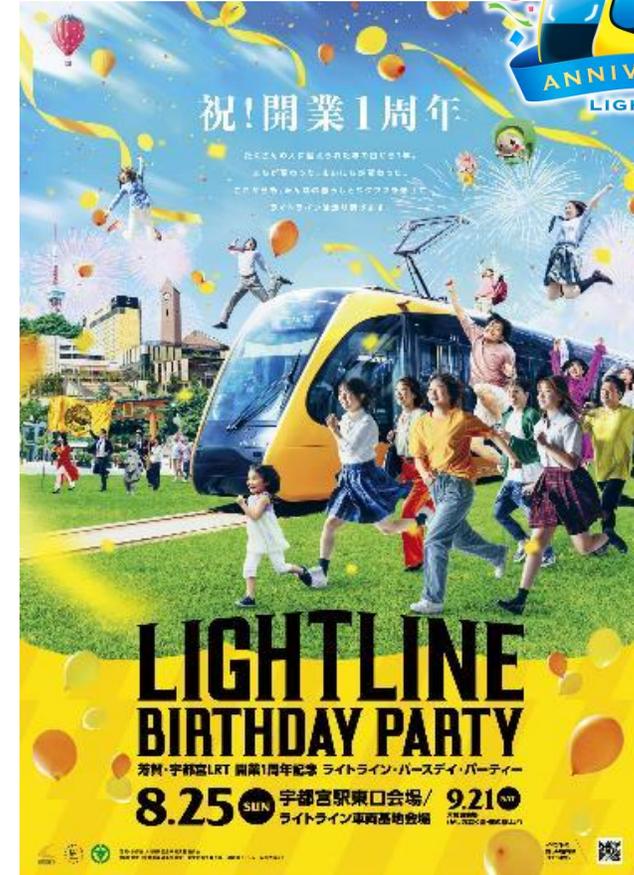


本市が、多くの人や企業から選ばれるとともに、
本市を選んだ人・企業が、自ずと宇都宮のよさを発信し、
まちづくりの担い手の増加や企業の定着を促進する好循環を生みだしていきたい

“共創のまち うつのみや” 皆様、一緒に取り組んでまいりましょう！



住めば
愉快だ
宇都宮
UTSUNOMIYA



ご清聴ありがとうございました。

- この後のプログラムでは、より具体的に「共創の必要性」や「活動事例」などについて、各分野の最前線で活躍する皆様にお話をいただきます。
- 本イベントが、共創について学び、考える、きっかけになれば幸いです。